

2021.8. 31
農業農村工学会
@Zoom(福島大会)

農業農村地域における 情報利活用の未来図

溝口勝

東京大学

大学院農学生命科学研究科



農業農村情報研究部会

- 2004年9月設立



<http://agrinfo.en.a.u-tokyo.ac.jp/>

規約

(目的)第2条

この部会は、農業農村の整備、保全、管理、維持にとって不可欠な情報整備と情報環境、情報システム、ソフトウェア、データベース、ネットワーク、情報セキュリティなどに係る学術／技術の発展および部会員間の学術／技術交流に寄与することを目的とする。

(事業)第3条

この部会は、上記の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 共同研究の実施
- (2) 研究会、シンポジウム等の開催
- (3) 研究資料の収集・配布
- (4) その他、本研究部会の目的を達成するために必要な事項

(所属・会員)第4条

この部会は、(社)農業農村工学会に所属し、その学会員を主な構成員とするが、非学会員の加入を妨げない。

最近の勉強会のテーマ

- 2021
 - 農業農村地域における情報利活用の未来図
- 2020
 - ローカル5Gで農村はどう変わるのか-その可能性を考える-
- 2019
 - 農村地域に高度通信情報インフラが整備されたとしたら、あなたは何を
したいですか？-Society 5.0と農業農村工学-
- 2018
 - 農業農村工学分野におけるAI利用の可能性を探る
- 2017
 - 地域の魅力発掘と情報発信ツール
- 2016
 - 農業農村を活性化するゲームアプリの可能性
- 2015
 - 次世代型農業水利サービスの展望

農業農村のインフラ整備

- コロナ禍の問題
 - オンライン会議・講義
 - テレワーク
 - 地方分権の時代
- スマート農業 & 新しい生活様式
 - 農村地域の通信インフラ整備が必要
- 農業土木(農業農村工学)の出番！
 - 水・農地・環境 + 情報



64-5 農山漁村振興交付金のうち 情報通信環境整備対策

【令和3年度予算概算決定額 9,805 (9,805) 百万円の内数】

<対策のポイント>

人口減少、高齢化が進行する農村地域において、農業水利施設、農業集落排水施設等の農業農村インフラの管理の省力化・高度化を図るとともに、地域活性化やスマート農業の実装を促進するため、情報通信環境の整備を支援します。

<事業目標>

農業農村インフラの管理省力化等を図る情報通信環境の整備に取り組み、事業目標を達成した地区の創出（50地区〔令和7年度まで〕）

<事業の内容>

<事業イメージ>

1. 計画策定

情報通信環境に係る調査、計画策定を支援します。

2. 情報通信環境整備

① 農業農村インフラの管理の省力化・高度化に必要な光ファイバ、無線基地局等の情報通信施設の整備を支援します。

② ①の情報通信施設を地域活性化やスマート農業に有効利用するための附帯設備の整備を支援します。

<事業の流れ>

定額、1/2等

都道府県

国

都道府県

市町村等

定額、1/2等

定額、1/2等

地域活性化・スマート農業

地域活性化

活性化施設の
公衆無線LAN



農業体験等での活用

スマート農業



自動走行農機
での活用



鳥獣農センサー

農業農村インフラの管理の省力化・高度化



集落排水施設の監視



農道橋の監視



排水機場の
監視・制御



分水ゲートの
監視・制御



※ 無線基地局は地域の実状を踏まえて適切な通信規格（LPWA、BWA、Wi-Fi等）を選定

【お問い合わせ先】 農村振興局地域整備課 (03-6744-2209)

(令和2年度部会受託業務)

農業農村地域に係る情報化及び情報通信基盤のあり方に関する調査検討

- 内容
 - 情報通信基盤を活用した農業農村の振興等に係る構想策定(総額200万円)
- 応募資格
 - 農業農村情報研究部会会員(大学教員、学生など)
- 応募件数
 - 10-20件(上限に達し次第締切)
- 報告義務
 - A4一枚程度の報告書提出
 - 3月のオンライン発表会で報告
- 応募方法
 - 近日中に部会ホームページに掲載

[成果報告会=2021年3月5日勉強会](#)

農業農村工学会 **農業農村情報研究部会**

アイディア大募集!

- ◆ 応募資格: 農業農村工学会会員を含む個人またはグループ
- ◆ 補助金額: 1件あたり10-30万円(総額200万円)
- ◆ 申請締切: 2020年10月31日(土)

農業農村地域における情報利活用の未来図



- ◆ 報告義務: A4で2枚の報告書
Zoom部会勉強会での説明(15分)
- ◆ 報告締切: 2021年2月28日(日)

詳細&申請フォーム



<http://agrinfo.en.a.u-tokyo.ac.jp/project/200929.html>

お問い合わせ: agrinfo-hq@iai.ga.a.u-tokyo.ac.jp

プログラム

農業農村地域における情報利活用の未来図

<http://agrinfo.en.a.u-tokyo.ac.jp/meetings/anounce-44.htm>

16:10-17:00

アイディアソン: 農業農村地域における情報利活用をどうするか?
○杉野弘明・溝口 勝(東大院)